

## 守江幼・護江小だより 第6号

校(園)長 小河 正二  
発行日 令和元年5月20日(水)

学校  
教育  
目標

ふるさとを愛し、  
夢と希望に向かって  
主体的に学ぶ護江っ子の育成



# 「ふるさと」の素晴らしい自然



野辺地区から守江湾を望む美しい景色です。5月14日(木)、「学校だより」を区長さん宅へお届けしているときに、ふと目を海の方に向けると、その美しさに圧倒されました。肉眼では遠く大分市の工場地帯の煙突も見えました。新型コロナウイルス感染症対策で右往左往している人間の営みがうそのように感じました。「ふるさと」の美しさに包まれて、気持ちがとてもすっきりしました！

### 防災標語

新型コロナウイルスの3つの感染症は、「病気」「不安、恐れ」「偏見、差別」です。

# 学校再開へ

5月14日(木)、大分県が緊急事態宣言部分解除となったことで、日常の教育活動の制限が緩和され、5月25日(月)から学校再開となりました。

通常の学校登校となります。しかし、これまでとおり学校における感染症対策には取り組んでいきます。(手洗いの徹底、マスクの着用、教室内等の環境衛生づくり、「3密」の排除等)

ご家庭におかれましては、引き続き、毎朝の検温と健康観察をお願いいたします。

■集団感染が起きたクルーズ船に乗っていた大阪府の六十代男性は、帰宅後に事実と異なる噂を流された。「コロナをまき散らすな」と言われたり、友人がいわゆる濃厚接触者ではないかと疑われたりしたという事例も少なからず報告されている。

■ある大学の女性教授が新型コロナウイルスに感染したことを巡り、同大は、同大関係者への嫌がらせが数十件あったと明らかにした。同大によると、付属高の制服を着ていた生徒が見知らぬ男から「コロナ」と指をさされたり、職員の家族が勤務先から「出社しないでくれ」と言われたりした事例があったという。あるいは関係者が買い物先で「出てきてもよいのか?!」などと言われたケースもあったという。

■さらには、外国にいる日本人を含むアジア系の人たち、あるいは外国から帰国してきた人たちも、事実とは異なる噂による被害を受けている。

また最近では、抗・新型コロナウイルス薬をアフリカで試してみتهという横暴な考え方も表出した。

もうひとつの「感染症」として報告されています。

## これからの主な学校行事

○4月16日(木)に予定されていた6年生対象の全国学力・学習状況調査は中止となりました。

○4月21日(火)に予定され、5月28日(木)に予定されていた5年生対象の県学力定着状況調査、及び4年生対応の市学力定着状況調査は中止となりました。ただし、5年生には、学習状況等を問う「質問紙調査」は行います。